



昨年に引き続き、本年も SSH プログラムの一環で、1年生の総合自然科学科40名と希望者17名が関東研修に、2年生の希望者20名が台湾研修に行きました。総合自然科学科・コースでは、夏季休業中に、これら2つの研修を行うことで最先端の科学技術にふれ、科学する心と国際理解を深めています。

研修に際し、事前学習として、研修に行く先で研究されている内容に関係した講義や、内容についての理解を深める調べ学習の時間を設け、研修中の理解を深める取り組みも行っています。



関東研修

関東研修は、8月2日から8月4日にかけて行われました。2日は国立科学博物館にて班別学習を行い、あらかじめ自分たちで設定したテーマに沿って展示を見学しました。3日の午前には、本校26回生の西本晴男先生による筑波大学の施設見学と重田育照先生による講義を受け、午後には、筑波にある宇宙センター(JAXA)の宇宙飛行士コースに参加し、施設見学と説明を受けました。最終日の4日には、本校60回生の松久直司さん、同じく62回生の井出舜一郎さんの案内の下、『東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻染谷研究室』の見学と講義を受けました。研修中には、夕食後などに研修で分かったことのまとめや班別討議を行い、研修後に班別で発表会を行いました。

台湾研修

台湾研修は、8月3日から8月6日にかけて行われました。生徒たちは、龍野から遠く離れた、台湾の地で、実験や見学を行いました。3日に出発し、台湾の国立台南女子高級中学に到着すると、生徒たちはそれぞれのホストファミリーのもとで過ごしました。4日になると、国立台南女子高級中学と本校の姉妹校締結がなされ、歓迎式となりました。この日は午前中に化学を、午後は生物の協働実験を行いました。生徒たちは両校でなされている課題研究の発表や、スポーツを通して、積極的に交流を深めていました。5日は国立台湾成功大学にて物理の協働実験と、四草紅樹林緑色隧道にてマングローブ林の観察を行い、6日には、故宮博物院で玉、ヒスイなどの研修を受けて、充実した研修となりました。



生徒の感想文 (抜粋)

- ・ (装置に関する)講義を聞いて自分ならどう使いたいかなどを想像したり、その日の最後に班全員で話し合ったりパソコンでまとめたりすることによって自分で考えたりすることもできました。
- ・ みんなで協力し、一つの事に取り組み、完成、成功させる大切さも学びました。
- ・ 本などで知っていることもこうして実物を見ると理解が深まると思いました。
- ・ 自分の目標が見えた研修だったと思います。
- ・ 他国の文化はとても興味深かったし、人の温かさは世界共通であるということがわかりました。
- ・ 実験を通して感動を分かち合えたのは、国境を越えた良いコミュニケーションになったと思います。
- ・ 自分が成長したところも未熟なところも両方わかりました。それをしっかりと認識した上で、今後の生活に活かしていきたいと思います。
- ・ 自分の意見が相手に伝えられることの楽しさを改めて実感しました。